

伝統に生きる

—あらかわの工芸技術—



つまみかんざし

とむら 村ひで

(平成7年度作品)

16ミリ映画・ビデオ
カラー・15分

プロフィール

住所、荒川区南千住1-43-6

大正4年(1915)、山形県生れ。

平成6年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定される。

華道の先生をしていた戸村さんは、つまみかんざし職人のご主人と結婚したことがきっかけでこの仕事をするようになり、女性ならではの繊細な感性を取り入れながら、伝統的な技法を守り続けている。

研究熱心な戸村さんは、昔ながらのつまみの技法に変化をつけた「変わり剣つまみ」を考案した。その他、台座にボール紙を使用せず、直接針金にふくなど数々のアイデアを出し、伝統的なつまみかんざしを更に素晴らしい工芸品へと導くための努力を惜しまない。

その技法は娘さんの絹代さんへと受け継がれている。

企画 東京都荒川区教育委員会・制作 株式会社 文化工房
著作

用具・工具

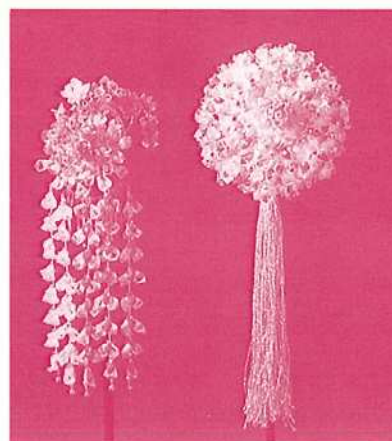
羽二重、裁ち鋏、和鋏、定規、ボール紙、針金、姫糊（米の澱粉質を練り上げたもの、現在では小麦粉を溶かしたもの）、糊板、ピンセット、極天（絹糸）、かんざしの足、葉、ビラ

工程 —— 桜・孔雀・乱菊かんざしの場合 ——

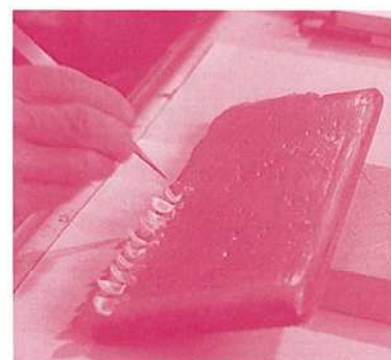
- (1) 羽二重の生地を必要な寸法にあわせて裁断する。
- (2) 姫糊を糊板にまんべんなく厚めに塗る。
- (3) 【つまみ】
 - ・羽二重の生地をピンセットでつまんで折り曲げ、形を作って糊板に並べる。

〔つまみの種類〕

 - ・丸つまみ・・・菊などを作る。
 - ・丸押しつまみ・・・梅、薔薇、蝶などを作る。
 - ・剣つまみ・・・菊、矢羽根、葉、柳などを作る。
 - ・桔梗つまみ・・・桔梗を作る。
 - ・変わり剣つまみ・戸村さん独自の技法。
- (4) 【ふく】
 - ・糊付けされた花卉を一枚一枚台座の上に置き、花の形を作る。
- (5) 花にガクを取り付ける。
- (6) 【組み込み】
 - ・ふき上げた花を数本ずつ組み合わせ束ねる。
- (7) 葉、ビラなどを付ける。
- (8) かんざしの足を極天（絹糸）でしっかりとくくり付ける。



(完成したつまみかんざし)



(つまみ)



(かんざしをつけてもらう孫の生代子さん)



(ふく 絹代さん)

この記録（ビデオテープ）は荒川区教育委員会社会教育課及び、荒川区内の各図書館で貸し出しています。なお〈16mm映画〉は社会教育課及び、荒川区立荒川図書館で貸し出しています。どちらも貸出期間は、1回5日間です。お気軽にご利用ください。但し、〈16mm映画〉の貸出には団体登録と16mm映写機講習修了者の操作が義務づけられています。

〈問い合わせ先〉

荒川区教育委員会社会教育課・・・3802-3111（内線3358）

荒川図書館・・・3891-4349 町屋図書館・・・3892-9821

尾久図書館・・・3800-5821 日暮里図書館・・・3803-1645

南千住図書館・・・3807-7114